

松江だんだん

会報第9号

【平成28年度】



国宝 かもす 神魂神社

近畿松江会

ふるさと松江

作詞 近畿松江会

一
神話は語る

しんわ
かた
さだかか
佐陀加賀

四

牡丹薫る

ぼたんかお
やつかじ
八束路

ご縁嬉し

えんうれ
やえがき
八重垣

紫烟けむる

しえん
なかうみ
中海

熊野神魂も

くまのかもす
ちんざ
鎮座して

恵比寿シヨコホイ

えびす
ごほんまつ
五本松

だんだん
松江

ふるさと

だんだん
松江

ふるさと

二
千鳥お城

ちどり
いしがき
石垣

五

意宇川ほとり

おうかわ
あだかや
阿陀加夜

嫁が島に

よめ
しま
あかね
茜さす

城の稲荷

しろ
いなり
しんこうさい
神幸祭

松江大橋

まつえおおはし
カラコロと

掛声華やか

かけこえはな
ホーランエンヤ

だんだん
松江

ふるさと

だんだん
松江

ふるさと

三
蛸美味し

しじみあじ
しんじこ
宍道湖

曲は 故郷（ふるさと）作曲 岡野 貞一

波に遊ぶ

なみ
あそ
ゆづかも
夕鴨

うさぎ追いし かの山・・・

勾玉湯の町

まがたまゆ
まち
ゆかた
浴衣がけ

※ 近畿松江会では歌詞を募集しています

だんだん
松江

ふるさと

ご応募は事務局へお問合せください

目 次

表紙題字	・ ・ ・ 近畿松江会 元顧問 和田亮介氏	
会歌「ふるさと松江」	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 作詞 近畿松江会	
目 次	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1
平成28年度総会・懇親会報告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2
総会・懇親会参加者名簿	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	4
ご 挨拶 近畿松江会 会長 伊藤 征治	いとう まさはる	5
松江市長 松浦 正敬	まつうら まさたか	6
平成27年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	7
近畿松江会この一年	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	8
平成27年度収支決算報告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	11
平成28年度事業計画	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	12
平成28年度収支予算書	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	13
基調講演 藤間寛先生	とうま	14
・ 編集担当 渡辺悟		
「不昧公の足跡」～ 財政再建から茶の湯・文化振興へ ～		
寄稿集 わがふるさと“松江だんだん”	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	16
◆上宇部尾 内田美二 ◆宍道町 木原 貢 ◆【松江の耳寄り情報】		
寄 稿 小泉八雲朗読の夕べ 堂形町 小田一美	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	19
近畿松江会 平成28年度役員名簿	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	20
会員名簿（出身町・中小学校区別）	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	21
会 則	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	25
広 告	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	27
お知らせ・編集後記	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	34
巻末資料：表紙について		

第 11 回近畿松江会総会・懇親会 報告

第 11 回近畿松江会総会・懇親会は、快晴の 5 月 22 日（日）11 時から、新大阪のニューオーサカホテル 3F の淀の間で開催されました。

昨年の創立 10 周年記念総会・懇親会を会員・



会友 105 名、来賓 33 名、計 138 名のご参加をいただき盛大に開催でき

たことを受け、新しい 10 年のスタートとして、会場も新たに求めて取り組みましたが、会員・会友 79 名、来賓 35 名、計 114 名（別掲）のご参加をいただき、充実した楽しい会になりました。

（式次第は別掲）

◆総会

総会の司会は常任幹事の鶴羽孝子さん（西持田町）が初めてとは思えないほど落ち着いてご担当いただきました。

総会は、小川龍朗副会長（島根町）の緊張を



ほぐすような松江弁による「開会のことば」で始まり、伊藤征治会長（北堀町）から感謝と歓迎の「会長挨拶」を申

し上げて所定の総会議事に入りました。

議事は竹谷奨事務局長（八束町）から平成 27 年度事業報告と決算報告、木原貢監事（宍道



町）からはその監査報告がなされ、拍手でご承認をいただきました。また、新役員として田中裕子常任幹事（石橋町）、木原貢監事、吉岡靖

晃監事（山陰合同銀行大阪支店長）が、同じく拍手で承認されました。

次いで、平成 28 年度事業計画と予算案について内部茂副事務局長（東朝



日町）から報告をし、同じく承認をいただき、議事は無事に終了いたしました。



その後、ゴルフ担当の井上隆吉常任幹事（上東川津町）からゴルフ同好会の活動状況とご参加のお誘いをし、最後に押田良樹常任幹事（大庭町）から「閉会のことば」を申し上げて総会は無事に終了いたしました。



（総会議事資料は別掲）

◆講演

本年度の講演は、松江藩代七代藩主松平不味公の没後 200 年を 2018 年に迎えることから、松江歴史館藤間寛^{ようまひろし}学芸専門監に、「不味公の足跡～財政再建から茶の湯・文化振興～」と題して興味深いお話をいただきました。

（ご講演骨子は、司会の渡辺悟常任幹事（北田町）により別掲紹介）

◆懇親会

休憩の後、いよいよお待ちかねの懇親会がスタート。司会は常任幹事の茂居理智子さん（堅町）が初めてのご担当で、まず教室を開くほどの腕前の南京玉すだれの一発芸で皆





さんの度肝を抜き、次いで木村恵吉常任幹事(雑賀町)から皆様に対し感謝・歓迎の「開会(宴)のことば」を申し上げて懇親会は始まり

ました。

最初にご来賓を代表して松浦正敬松江市長より「祝辞」を頂戴し、田中裕子常任幹事により、来賓のご紹介と祝電の披露がなされました。



(松浦市長の来賓祝辞、ご来賓のお名前は別掲)

続いて、戸津川明克近畿島根県人会会長により、近畿松江会に対するあたたかいお言葉と、「乾杯」の音頭をとっていただき、歓談・懇親会へと進みました。



そして、例年のようにテーブルごとの、またテーブルを超えての交流・懇親が楽しくもたれ、会場は笑顔と歓声で満ち溢れました。それがいつまでも続くかと思われる中、いよいよ待望の牡丹の鉢植など松江産品を中心とする福引抽選会がおこなわれ、会場の雰囲気も最高潮に達しました。



役員は抽選者への依頼やら、景品のお渡しやらで手一杯、ついには会場から会員の森脇泰雄さん(外中堀町)、和田邦孝さん(北堀町)のお助けもいただいて、無事に大抽選会を終える

ことができました。(森脇さん、和田さん、有り難うございました)

抽 選 会 景 品 一 覧

抽選順	提 供	品 名	本数
1	松江市	牡丹鉢植	10
2		板わかめ	5
3		いちじくジャム	5
4		鯖しおから	5
5		めかぶドレッシング	5
6		松江かりんとう	10
7	松江会	松江銘菓 『つぶより』	10
8		松江ラーメン	5
9		ラフカディオコーヒー	5
10		はまぼうふう醤油漬	10
11		ごまヨドレッシング	10
12		お茶 『白折』	10
13	大 柁	あご野焼詰合せ	5
残り福	松江市	牡丹鉢植	6
		計	101

そして、フィナーレは我が国歌「ふるさと松江」の大合唱で、ふるさとに思いを馳せました。

余りの楽しさに時間も延長。「万歳三唱」は予定していた山本勝太郎松江市議会議長がご無理となって、急遽、細田敬二島根県大阪事務所所長をお願いをし、声も高らかに音頭をとっていただきました。

最後に「閉会のことば」を松本耕司常任幹事(上本庄町)から申しあげ、広範に市内各地域のご出身者が近畿松江会にご参加いただくよう皆様にご協力をお願いするとともに、来年の再会を約し、無事にご帰宅いただくようお願いして、なごやかな裡に解散いたしました。



なお、荊田運三郎顧問(雑賀町)奥様のチェミ様には、今年もまた参加者に対するお茶席を設けていただきました。また、池田喜美代様(石橋町)、大浦綾子様(北田町)、松本美奈子様(上本庄町)には、松江が誇る地域文化の情報誌「湖都松江」ほかの書籍販売のご協力をいただきました。皆様には紙面を借りてで恐縮ですが厚く御礼申し上げます。

第11回総会・懇親会出席者名簿 全114名

— 来 賓 — 35名様

松江市長	松浦正敬	京都島根県人会 会長	林邦幸
松江州市議会議長	山本勝太郎	京都島根県人会 副会長	吉山良治
松江市長務部長	三島康夫	京都島根県人会 副会長	下田弘子
松江市長官部長	講武直樹	京都島根県人会 幹事	西田治
松江市長業観光部長	矢野正紀	京都島根県人会 幹事	奥井徳栄
松江市長光事業部長	錦織裕司	京都島根県人会 事務局次長	下田陽子
松江市長報専門監	松本英史	鹿児島県人会	野元勝
松江州市議事務局次長	門脇保	近畿大社会 会長	千家敬麿
松江市長策部秘書広報課長	藤原雅輝	近畿安来会 会長	細田茂
松江市長光協会 常務理事	内田敏夫	近畿安来会 幹事長	山本伸
松江商工会議所 常務理事	松浦俊彦	宍道会 会長	木原貢善
		近畿いずも会 事務局長	石橋治善
近畿島根県人会 前顧問	和田亮介	近畿双松会 会長	松本耕司
近畿島根県人会 会長	戸津川明克	振商会近畿支部 支部長	松尾年浩
島根県大阪事務所 所長	細田敬二	工窓会近畿支部 会長	三澤正
講演者 松江歴史館学芸専門監	藤間寛	工窓会近畿支部 副会長	竹内喜次男
山陰合同銀行大阪支店 支店長	吉岡靖晃	工窓会近畿支部 会計委員長	福川妃路子
山陰中央新報大阪支社 支社長	赤井真一郎	松江女子高同窓会 関西支部長	田中裕子

— 会 員 ・ 会 友 — 79名

足立秀之 (大草町)	荒銀昌治 (安来市)	有田鋼司 (栄町)
有田嵩 (宍道町)	池田喜美代 (石橋町)	池田重利 (広瀬町)
一軸保志郎 (東生馬町)	伊藤征治 (北堀町)	伊藤雅義 (宍道町)
井上伸久 (上東川津町)	井上芳子 (石橋町)	井上隆吉 (上東川津町)
今井憲子 (西川津町)	内田美二 (上宇部尾町)	内 部 茂 (浜乃木)
梅木隆志 (美保関町)	大浦綾子 (北田町)	大堀裕子 (内中原町)
小川龍朗 (島根町)	小川ちづる (大阪市)	小川ますみ (京都市)
押田良樹 (大庭町)	小高久始 (宍道町)	門脇 緑 (八束町)
門脇基 (八束町)	門脇幸夫 (八束町)	神谷紀男 (上乃木)
菊田運三郎 (浜乃木)	北浦和憲 (岩見沢市)	北島幸子 (浜田市)
木村恵吉 (雑賀町)	木村八重子 (東本町)	小泉勝是 (八幡町)
後藤佑三 (福岡)	小松砂知子 (鹿島町)	木幡晃正 (宍道町)
佐藤早智子 (雑賀町)	篠木 豊 (西尾町)	柴田香苗 (宝塚市)
清水良子 (石橋町)	澄川光成 (雑賀町)	曾田良子 (古志原町)
武田和子 (雑賀町)	武田貞雄 (雑賀町)	竹谷 奨 (八束町)
田中一男 (和田見町)	田中繁法 (鹿児島市)	田中農子 (宍道町)
田中英明 (上乃木)	田部拓生 (本庄町)	田村稔久 (石橋町)
鶴羽孝子 (西持田町)	中村博行 (新 町)	西村 潔 (菅田町)
野津ゆう子 (黒田町)	長谷川紀美子 (玉湯町)	長谷川忠雄 (灘 町)
樋野美紀 (広瀬町)	藤坂優子 (西津田町)	別所裕志 (玉湯町)
星野裕弉 (春日町)	松本育郎 (上本庄町)	松本幸子 (南田町)
松本多美枝 (上本庄町)	松本美奈子 (上本庄町)	村尾俊治 (東朝日町)
茂居理智子 (豎 町)	本屋敷ちづ子 (隠 岐)	森藤哲章 (広瀬町)
森山 実 (出雲)	森脇泰雄 (外中原町)	安島幸雄 (和田見町)
山口紀子 (黒田町)	山崎麻里子 (石橋町)	若松靖子 (石橋町)
脇田健晶 (大阪市)	脇田茂子 (大阪市)	和田邦孝 (北堀町)
渡辺 悟 (田 町)		

ご挨拶「第11回近畿松江会総会・懇親会を終えて」

平成28年8月 会長 伊藤征治



去る5月22日、風薫る五月晴れの佳き日に第11回近畿松江会総会・懇親会がニュー大阪ホテルに於いて大勢の会員の皆様のご出席を戴き開催されました。

当日は故郷松江から松浦市長様はじめご来賓の皆様には大変ご多用の中、遠路お越し戴き有難うございました。

松浦市長様のご祝辞、ご来賓35名様のご紹介、戸津川近畿島根県人会会長様の乾杯で懇親会に錦上花を添えて戴きました事を会員の皆様にご報告申し上げます。

当会設立に大変ご尽力戴き、当日もご出席戴きました和田・荻田両先輩方により起案されました当会会則には、『会員相互の親睦を図り、あわせて郷土の発展と活性化に積極的に参加・貢献すること』を目的とする旨定義されております。

昨年国宝に指定されました故郷松江市のシンボルであります威風堂々たる『松江城』別名千鳥城、水の都の象徴であります『宍道湖の夕日』さらには『歴史と伝統ある温かな生活文化・市民の絆』等々素晴らしい故郷を共有されます会員の皆様が、年に一回一堂に会され、ご来賓の方々共々、相互に親睦を深め友好の輪をより大きく、より強く広げて戴くことが郷土の発展と活性化に積極的に参加・貢献する事にも繋がっていくものと思っております。

更に、本年は、松江歴史館学芸専門監藤間寛氏による、茶室「明々庵」で知られております不昧公の藩主としての一面「不昧公の足跡～財政再建から茶の湯・文化振興へ」をテーマにご講演を戴き、真に有難うございました。

尚、当日ご出席戴きました会員の90%以上の方々が、昨年の設立十周年記念総会にご出席戴いた会員でいらっしゃいました。現在会員数は170名弱となっておりますが、今後とも皆様のご支援ご鞭撻を力に、年年歳歳、総会・懇親会にご出席戴ける会員が前年対比『+α』になるよう注力致したく思っております。

近畿松江会ホームページにより当会の広報、総会・年間行事等を掲出致しておりますので、是非ご覧を戴きますよう、また、当会に関しご忌憚のないご意見、ご希望等をお聞かせ戴きますよう、何分とも宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様、総会当日ご来駕戴きました皆様様の益々のご健勝ご多幸を、ご祈念申し上げます。

『だんだん だんだん』

近畿松江会の皆さまへ 松江市長 松浦正敬



皆さまこんにちは。第11回近畿松江会総会・懇親会の開催まことにおめでとうございます。皆さまには平素よりふるさと松江を愛し、様々な活動を行っていただいていることに心から敬意を表します。特に、皆さまが熱心に応援してくださっている、八束学園の商人体験では、牡丹を購入した方から美しい花が咲いたという写真と御礼の便りが届き、生徒たちがたいへん感激したという報告を受けています。生徒のみならず教職員もたいへん喜んでおり、改めて感謝申し上げます。

さて、松江城天守の国宝指定により登閣者数が対前年比約31%増の約49万人を超え、現在の集計方法となった平成8年以降で最多となりました。この勢いは現在も続いており、5月23日には中国人を中心に4700人を乗せた大型クルーズ船のツアーコースに松江城が選ばれ、3000人を超える方々が訪れました。

このように今、国内・国外から注目を集める松江市には、たいへんな追い風が吹いており、うれしいニュースがたくさん飛び込んでまいります。最近では、松江城天守の国宝指定を契機に姉妹都市となった愛知県大口町とのつながりの中で、NHKの大河ドラマ「功名が辻」など人気作品を多数手掛ける脚本家の大石静さんをご紹介いただき、松江観光大使を委嘱しました。また、世界的なバイオリニストである朝枝信彦さんが縁あって滞在されたのを機に松江を大変気に入ってくださり、朝枝さんの人脈によって国内外の指揮者や演奏家、声楽家などトッププレイヤーが招かれ、「松江クラシックス音楽祭」を盛大に開催することができました。今後もこのつながりを大切に、クラシック音楽によるまちづくりを進めていきたいと考えております。

そのほか、来春の豪華寝台列車「瑞風」の運行やFDA（フジドリームエアラインズ）による出雲—名古屋小牧線の定期路線就航、さらには2便化など、観光面・経済面で大きな飛躍が期待されます。また、松江の魅力を示すものとして、市内外の医療法人や福祉施設関係者などからCCRC（Continuing Care Retirement Community：高齢者が元気なうちに移住し生涯にわたって活躍できる生活共同体）に最も適した場所のひとつとして松江が選ばれており、その取り組みをやってみたいといううれしいお話を多数いただいております。我々はどういった外からもたらされる変化をうまく取り入れ、さらに磨きをかけていくことでこの松江を「住み続けたいまち」あるいは「住みたいまち」に選んでもらえるよう全力で取り組んでまいります。今後とも皆さまのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりますが、こうして松江が注目を浴びるのも皆さまが日頃から松江を愛し、地道なPRを積み重ねていただいた賜物にほかならず、松江市にとって本当に大切な宝物です。これからも近畿松江会が隆盛を極めますとともに、会員の皆さまのご健康とご多幸を祈念しましてごあいさつとさせていただきます。

平成 27 年 度 事 業 報 告

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月9日	金	18:00	役員会 全国都道府県対抗女子駅伝激励会	加茂川館
1月11日	日	9:00	役員会:同上応援	西京極陸上競技場
1月10日~19日			前進座初春公演「薄桜記」観劇 役員会:1月17日	京都四条南座
2月 9日	金		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
2月17日	火		平成26年度会計 会計監査	
2月18日	水	18:00	役員会 平成26年度決算報告・平成27年度収支計画ほか	大 柝
2月20日	金		伊藤会長・竹谷事務局長松江市訪問	関係機関
			「双樹学院」支援金(H27年度第1回)贈呈	
3月18日	水	18:00	役員会 10周年記念総会・懇親会 招待者・会費ほか決定	大 柝
3月20日	金		第7回 近畿松江会ゴルフ大会	茨木国際ゴルフ倶楽部
3月23日	月		創立10周年記念総会・懇親会案内状発送	
4月16日	木		第45回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会参加	箕面ゴルフ倶楽部
4月22日	水	18:00	役員会 記念総会・懇親会 参加状況確認・資料協議	大 柝
5月20日	水	18:00	役員会 記念総会・懇親会 役割分担等確認	大 柝
5月24日	日	11:00	創立10周年記念総会・懇親会	新阪急ホテル
7月15日	水	18:00	役員会 記念総会・懇親会 総括・記念会報への取組	
8月18日	火		「双樹学院」支援金(H27年度第2回)贈呈	
8月26日	水		役員会 記念会報(第8号)発行について	
9月15日	火	13:30	八束学園大阪商人体験地産品販売応援	天神橋商店街3丁目
9月30日	火		第8回 近畿松江会ゴルフ大会	茨木国際ゴルフ倶楽部
10月4日	日		「雀林遊会」桂すずめ(三林京子)落語会	国立文楽劇場
10月21日	水	18:00	役員会 記念会報(第8号)講評・H28年度総会、懇親会について	
9月下旬			創立10周年記念会報【第8号松江だんだん】発行	
11月11日	水		第46回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部
11月15日	日		近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
12月3日	木		平成28年度年会費納付のお願い発送 平成28年度上期行事予定報告 「双樹学院」支援金(H27年度第3回)贈呈	
12月21日	月		伊藤会長・竹谷事務局長松江市訪問	関係機関

近畿松江会この一年

平成27年7月～平成28年7月まで

☀️平成27年（7月～12月）

☆7月15日（水）

- ・『松江城天守』国宝に指定

☆7月15日（水）7月期 三水会

- ・10周年記念総会懇親会総括
- ・第8号会報への取り組みについて

※この日より、木原貢さん（宍道町出身）
田中裕子さん（石橋町出身）が監事
常任幹事として出席



☆8月12日（水）

- ・第8号会報発行について
例年300部のところ、記念号につき350部とした
 - ・平成28年度総会・懇親会について
第10回ゴルフ大会と合わせ「ふるさと」での開催を検討
- ※この企画は諸般の事情により、8月末に中止を決定しました。

☆8月17日（月）

- ・双樹学院へ平成27年度第2回支援金を贈呈しました。

☆9月15日（水）9月期 三水会

- ・会報第8号発行直前読み合せ
- ・松江市立八束学園（小中一貫校）8年生35名が天神橋3丁目「天三おかげ館」にて大阪商人の心得を受講し、2丁目及び3丁目、2箇所（大根島）特産品（牡丹苗、はまぼうふうの漬物）の販売と観光PRを応援しました。



☆9月30日（火）

- ・第8回近畿松江会ゴルフ大会を開催
於 茨木国際ゴルフ倶楽部
- 参加者：19名 順位は僅差
優勝 森 一正（堅 町）N72.2
準優勝 松尾年浩（馬潟町）N73.4
3 位 武田貞雄（雑賀町）N73.8

☆10月4日（日）



- ・「雀林遊会」桂すずめ
（三林京子）落語会
於いて国立文楽劇場

☆10月21日（水）10月期 三水会

- ・10周年記念会報（第8号）講評
- ・H28年度総会・懇親会会場選定ほか

☆10月17日（木）

- ・10周年記念会報（第8号）発送
松江城天守が国宝に指定されましたことも含め、過去最高の56ページにわたる特集を組みました。

特集【創立10周年記念総会・懇親会】

- ・近畿松江会10年の歩み
- ・参加者名簿
- ・功労者表彰を受賞して
- ・基調講演「松江の文化資源、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン）を現代に生かす」

島根県立大学短期大学部

教授 小泉凡先生

- ・総会・懇親会に参加して（感想）

※総会・懇親会にあつては、寄付金、抽選会景品等個人、団体から沢山のご協力をいただきました。

この場をお借りして御礼申し上げます。

松江だんだん

創立10周年記念会報

【第8号 平成27年度】



近畿松江会

☆11月12日（木）

- ・第46回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会に出場しました。当会から8名参加、団体戦はA組の15位がでしたが一般の部で田黒公司さんが優勝 NET71.6 でした。

☆11月15日（日）

- ・第53回
故郷応援団～みんなで楽しむ近島根県人会
今回は「隠岐地区」担当でした。

☆12月3日（木）

- ・双樹学院へ平成27年度第3回支援金を贈呈しました。

☆12月初旬

- ・平成28年度の会費納入のお願いと上期行事予定を発送しました。

☆12月21日（月）

- ・松江市訪問（伊藤会長・竹谷事務局長）
松江市長様ほか面談、今年度のお礼と来年度の構想をお話させていただきました。

☀️平成28年（1月～7月）

☆1月8日（金） 役員有志 加茂川館

- ・全国都道府県対抗女子駅伝島根県チーム激励会に参加し、激励金を贈呈しました。



写真は松江市出身の3選手

☆1月11日(日) 随意

- ・全国都道府県対抗女子駅伝を京都西京極陸上競技場、沿道にて応援しました。

※関連記事

P-18 松江の耳より情報】参照

☆1月4日(月)～17日(日) 随意

- ・恒例の劇団前進座初春公演で「夢千代日記」を観劇

於 京都四条南座

☆2月3日(水)

- ・平成27年度会計監査を実施しました。

☆2月12日(金)

- ・児童養護施設「双樹学院」支援金募集

☆2月18日(水) 2月期 三水会

- ・平成27年度決算報告
- ・平成28年度事業計画ほか

☆3月7日(月)

- ・双樹学院へ平成28年度第1回支援金を贈呈しました。

※沢山の方々より支援金のご協力をいただきました。ありがとうございました

☆3月16日(水) 3月期 三水会

- ・第11回総会・懇親会開催について
予算、会場をホテルニューオオサカに決定

☆3月25日(金)

- ・松江市訪問(伊藤会長・竹谷事務局長)
松江市長様ほか面談、今年度の総会・懇親会へのご協力をお願いしました。
また、基調講演者の推薦をお願いしました。

☆3月29日(火)

- ・第9回近畿松江会ゴルフ大会開催

於 茨木国際ゴルフ倶楽部

参加者：19名 前回に続き順位は僅差
優勝 山口 茂 (北堀町) N71.0
準優勝 田黒公司 (海士町) N73.0
3位 篠木 豊 (西尾町) N73.8

※参加者募集中



☆4月20日(水) 4月期 三水会

- ・総会、懇親会式次第等検討

☆5月18日(水) 5月期 三水会

- ・総会・懇親会 役割分担等確認
最終参加者確認

※吉岡靖晃さん(鳥取市出身・合同銀行)
が佐藤監事の後任にて出席

☆5月22日(日)

第11回総会・懇親会開催

※P-2、3に報告

☆7月7日(木)

- ・第47回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会に出場しました。当会から10名参加、団体戦はB組の19位が最高位でした。



個人戦、一般の部で第46回に続き田黒公司さんが優勝NET70.0でした。

※団体戦3位入賞を目指しています。

平成27年度 近畿松江会 収支決算書

(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

収入の部

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
前期繰越金	0	0	0	
年会費	465,000	453,000	▲ 12,000	会員164名の内納入者：151名
總會費	936,000	1,036,000	100,000	10周年記念総会・懇親会会費・祝儀（参加者：139名）
寄付金	240,000	254,000	14,000	10周年記念大会寄附金
広告料	200,000	285,500	85,500	会報広告料：全27件
借入金	0	41,110	41,110	事務局
雑収入	100	3,324	3,224	預金受取利子・会報販売
合計	1,841,100	2,072,934	231,834	

支出の部

単位：円

科目	予算額	決算額	比較増減	備考
總會費	1,350,000	1,501,613	151,613	10周年記念総会・懇親会
広告費	43,200	43,200	0	年賀・暑中見舞い紙上掲載（山陰中央新報社）
通信費	80,000	99,910	19,910	各種案内状・会報発送
印刷費	165,000	238,140	73,140	会報第8号（350部）
事務費	60,000	63,801	3,801	HP接続料、封筒、宛名ラベル紙ほか
旅費	20,000	25,700	5,700	松江市訪問（竹谷事務局長）
雑費	45,000	44,934	▲ 66	松江市訪問土産代、市町村対抗ゴルフ飲物代（2回）他
予備費	13,434	21,520	8,086	女子駅伝祝儀・八束学園激励
事業費	30,000	0	▲ 30,000	ゴルフ同好会賛助金
払込負担金	20,000	19,650	▲ 350	会費、広告費等郵便局払込手数料
借入金返済	14,466	14,466	0	
次期繰越金	0	0	▲ 0	
合計	1,841,100	2,072,934	231,834	

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

平成28年 2月 3日

監 事 木 原 貢 ⑩

監 事 佐 藤 徹 志 ⑩

平成 28 年度 事業 計画

月 日	曜日	時間	行 事 等 の 内 容	場 所
1月8日	金	18:00	役員会 全国都道府県対抗女子駅伝激励会 激励金贈呈	加茂川館
1月11日	日	9:00	役員会:同上応援	西京極陸上競技場
1月4日~17日			前進座初春公演「夢千代日記」観劇 随意 役員会:13日	京都四条南座
2月 3日	水		平成27年度会計 会計監査	
2月12日	金		児童養護施設「双樹学院」支援金募集案内発送	
2月18日	水	18:00	役員会 平成27年度決算報告・平成28年度収支計画ほか	大 栢
3月 7日	月		「双樹学院」支援金 (H28年度第1回)贈呈	
3月14日	日	18:00	桂米朝追善芝居地獄八景亡者戯観劇 役員会 総会会場について	大 栢
3月23日	水		第11回総会・懇親会案内状発送	
3月25日	金		伊藤会長・竹谷事務局長松江市訪問	関係機関
3月29日	火		第9回 近畿松江会ゴルフ大会	茨木国際ゴルフ倶楽部
4月 7日	木		第47回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会参加:暴風雨中止	箕面ゴルフ倶楽部
4月20日	水	18:00	役員会 総会・懇親会 参加状況確認・資料協議	大 栢
5月18日	水	18:00	役員会 総会・懇親会 役割分担等確認	大 栢
5月22日	日	11:00	第11回総会・懇親会	ニューオオサカホテル
7月 7日	木		第47回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会参加	箕面ゴルフ倶楽部
以降毎月	第3水		役員会	
8月23日	火		「双樹学院」支援金 (H28年度第2回)贈呈	
9月24・25日	土・日		ふるさと訪問&ゴルフ大会(第10回)	懇親会:ホテル白鳥 ゴルフ:島根ゴルフ倶楽部
9月下旬			会報第9号発行	
10月17日	月		八束学園大阪商人体験地産品販売応援	天神橋商店街3丁目
10月22日	土		「雀林遊会」桂すずめ(三林京子)公演	国立文楽劇場
11月6日	日		第54回近畿島根県人会総会・懇親会	ホテルニューオオタニ
11月10日	木		第48回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部
12月初旬			平成29年度年会費納付のお願い発送 平成29年度上期行事予定報告 「双樹学院」支援金 (H28年度第3回)贈呈	

平成28年度 近畿松江会 収支予算書

(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

収入の部

単位：円

科目	27年度決算額	28年度予算額	比較増減	備考
前期繰越金	0	0	▲ 0	
年会費	453,000	465,000	12,000	155名×3,000円
総会費	1,036,000	800,000	▲ 236,000	総会・懇親会会費 100名×8,000円
寄付金	254,000	50,000	▲ 204,000	
広告費	285,500	250,000	▲ 35,500	会報広告
借入金	41,110			
雑収入	3,324	1,000	▲ 2,324	預金受取利子
合計	2,072,934	1,566,000	▲ 506,934	

支出の部

単位：円

科目	27年度決算額	28年度予算額	比較増減	備考
総会費	1,501,613	900,000	▲ 601,613	100名×9,000円
広告費	43,200	43,200	0	年賀・暑中見舞い広告(山陰中央新報社)
通信費	99,910	100,000	90	総会、懇親会案内状・会報発送費ほか
印刷費	238,140	200,000	▲ 38,140	会報発行(300部)ほか
事務費	63,801	64,000	199	ホームページ接続料ほか
旅費	25,700	45,000	19,300	松江市訪問ほか
雑費	44,934	45,000	66	松江市訪問手土産ほか
予備費	21,520	35,000	13,480	女子駅伝・修学旅行激励・甲子園出場寄付ほか
事業費	0	30,000	30,000	ゴルフ同好会助成金
払込料金負担	19,650	20,000	350	総会、懇親会・広告(ゆうちょ銀行)
借入金返済	14,466	41,110	26,644	
次期繰越金	0	42,690		
合計	2,072,934	1,566,000	▲ 506,934	

講演 「不昧公の足跡」

～ 財政再建から茶の湯・文化振興へ～
＜講師＞藤間 寛 松江歴史館学芸専門監



(編集担当から) 今、松江では再来年(2018)の松平不昧公没後200年行事に向けて準備が進められています。今回の講演は、不昧公の研究と、その功績を伝える事業に幅広く携わっておられる藤間先生(昭和28年大社町生まれ、島根県立博物館・美術館等を経て、平成26年より現職)にお願ひしま

した。

松江藩第七代藩主治郷(不昧 1751～1818)は大名茶人としてよく知られています。一方で、「出羽様(松江藩主)ご破産」と江戸で噂されたほどの財政窮乏状況だった松江藩を改革に導いたのも不昧公でした。そのことを、講演で聞かせていただき、目から鱗が落ちる思いがした次第です。

右ページにそのレジュメと、下記に司会を担当した渡辺悟常任理事(北田町)の感想文を掲載してご講演の報告とさせていただきます。

不昧公——「知ってるつもり」だったが 常任理事 渡辺 悟(北田町)



高校生のとき、殿町に住む同級生の家に遊びに行きました。座るなり、「まあ一行かこい」。彼は剣道部主将。武骨ながら見事な手さばきでお茶が点てられました。私はそのお茶を「不昧流で」飲み

干しました。

我が家でお茶を点てる時、何かにつけて「不昧流で」と言い交わすのが常でした。もちろん、不作法・不調法の隠れ蓑だったでしょうが、おかげでおおらかにお茶を楽しむことができたと思います。高校生二人の胡坐をかいた茶会は滞りなく終わりました。

そんな日常で育ったので不昧公は極めて近い存在でした。ただ、単なる風流好きなお殿様だと思っていたのです。ですから、「不昧公の足跡～財政再建から茶の湯・文化振興へ」という講演タイトルを読んで、たちまち我が不昧公像が揺らぎました。

そして講演で不昧公像はしっかり修正されまし

た。驚いたのは、松江藩の年間財政規模の3～4倍に当たる50万両の借金を、日本中の多くの大名が借金をうやむやにし、チャラにしていた中で、返済期間を延ばしながらも完済したことでした。

そして、もっと驚いたのは、茶道の研究・振興に潤沢な資金をつぎ込み、それが結果として和菓子、料理など文化産業の振興に大きく貢献したことです。

厳格な借金返済と文化への惜しみない支出は、まったく相反する政策です。爪に火をともしような緊縮路線の中で、「文化」の出る幕はない。ふつうはそうなのですが、松江藩はそれをやってのけた。

二律背反を可能にしたのが木苗方、人参方など4つの専売事業を柱にした産業振興だったというわけです。そして財政再建の成功は人口増、石高増という、他藩にない好循環を生み出していったことを知りました。

デフレ脱却ができないまま、公的債務が増え続けるいまの日本と単純に重ねあわすことは無理があると思います。さはさりながら、実業を次々興し、文化を思うさま享受し、新たな文化型産業の創造につなげたのが不昧公です。文化を時代の推進力にした「不昧流」から学ぶべきことはたくさんあるのではないのでしょうか。

前回(2015年)の近畿松江会10周年記念講演「松江の文化資源、小泉八雲を現代に活かす」(講師・小泉凡島根県立大学短期大学部教授)でもそうでした。故郷の偉大な先人について、子どものころから見聞きしているがゆえに、「知ってるつもり」シンドロームに陥ってしまっているのではないかと。

レジュメの一番下に引用されている教えは何とも深く魅力的です。

「時世のうつりゆきをわきまえず、一つ所に足を止めて移行を知らざるものは生涯の下手と申すべき也」(「茶の湯の本意」五条の内)

不昧公が亡くなったのは文政1(1818)年4月。明治維新のちょうど半世紀前でした。2018年に没後200年を迎える偉大なる風流人の多面的な足跡をもっとたくさんの人たちに知ってほしいと思いました。

NHKの大河ドラマは、もう遅いのかなあ……。

不昧公の足跡 ～ 財政再建から茶の湯・文化振興へ

・千利休、古田織部の没後 400 年、琳派誕生—400 年

まもなく松平不昧(1751~1818) 没後 200 年

葛飾北斎(1760 生)、鈴木春信、円山応挙、伊藤若冲、曾我蕭白らが活躍。

・徳川政権下

全国に約 270 藩

文化文政期——江戸文化が発展した時期、多くの大名・藩主が芸術文化をはぐくんだ時期

・なぜ不昧が注目されるか？

1、財政再建

不昧公時代には、50万両の借財 [13~16万両/藩の年予算・不昧の頃]

→ 天保11年(1840) 9代藩主齊齋の時に完済する。

6代藩主——松平宗衍・・・最悪の藩財政 → 延享の改革

不昧・・・家老朝日丹波 → 明和の改革(お立派の改革)

不昧時代の松江藩財政が好転する状況を記す・『出入捷覧』

財政改革の手法—産業では

藩の専売事業 ①「木苗方」(きなえかた) ②「木実方」(このみかた)

③「釜瓶方」(ふそうかた) ④「人参方」(にんじんかた)

財政の好転

①藩の御金蔵 文化8年(1811) から10万両を保有できた。『出入捷覧』

②藩の人口増 寛延3年(1750)頃約23万5千人、文化14年(1817)頃に30万人強

③石高の増加 実高・・・約38万石

2、茶道の研究・収集

◆『古今名物類聚』18冊の出版—茶道具の研究書(状態を詳しく調査・記録する)

◆「雲州蔵帳」約45年間で約924点を収集(国宝12点、重文15点)

安永元年(1772年:22歳)から文政元年(1818年:68歳)に集める。

総額= 約12万両?

国宝・圓悟墨蹟2500両 東京国立博物館蔵、唐物肩衝茶入「残月」(東山、秀吉、家康伝来)2000両 文化

庁蔵、古瀬戸茶入「槍の鞘」(秀吉伝来)1650両、国宝・虚堂墨蹟1500両 東京国立博物館蔵、

重文・唐物茶入「油屋肩衝」(秀吉、家康伝来)1500両 島山記念館蔵

財源 不昧の小遣い(年平均額) 「御前様」「ご隠居様」「お手元金」の記載から推定。

・初期-1800両、中期-3600両、後期-4300両、隠居後-5800両

*福山藩主(水野10万石)の場合、3000両/年

全額は茶道具に使わない。逝去後の支払残額1818両。ローンで購入。

(*参勤交代の費用=1回3000~4000両かかる)

3、文化振興・・・芸術文化の育成そして産業化(長期展望)

工芸品(陶器や漆工芸の茶道具)、和紙、茶室、食文化(お菓子・料理)

茶室=明々庵・29歳、菅田庵・42歳、大崎下屋敷の茶苑56歳

■「時世のうつりゆきをわきまえず、一つ所に足を止めて移行を知らざるものは生涯の下手と申すべき也」(『茶の湯の本意』五条の内)

寄稿集「松江だんだん」

会報のニックネーム「松江だんだん」にちなみ、「松江に“だんだん”する」ページをつくりました。

わが町・わが村・・を「語る」内容でも、「思い出」でも、「思い」でもすべて可とし、今年も下記の方々に、謂わば町内代表としてご寄稿をいただきました。

皆で語り継ぐ企画ですから、町内リレー大会のように、次号はあなたにバトンがいくかもしれません。その節はよろしくタノンマスケンネ。

(掲載は、町のアイウエオ順)

■上宇部尾町

「自慢の上宇部尾 (カミービョウ) 町」



内 田 美 二

天気が良ければ出雲富士(大山)と中海に浮かんだ大根島と、まるで絵に描いたような景観を毎日拝みながら日

常の生活ができる、ここが私の自慢の故郷・上宇部尾町で、昭和22年、農家の次男として生を受けた。

今や周辺道路も整備され、山陰道から「だんだん道路」に入り最初の「西尾IC」で降りて八束町(大根島)方向へ進み、大根島に渡る大橋の左側、大海崎鼻の根元が「上宇部尾」である。

子供の頃は、中海の縁を歩いて牡蠣を拾ってそのまま海水で洗って食べたり、夏には海水浴とかハゼ釣りをした遊びの場でもあった。

当時は松江合同汽船が海の交通機関として中海から松江大橋まで、本庄⇄大根島⇄松江と往復をしていたのも懐かしい思い出となっている。

一時は中海の干拓事業も進み、帰松の度に景観も変化していたが、干拓中止となったお陰もあり、上宇部尾の中海周辺道路も整備され、美

保関神社やテレビのCMで有名になった境港に渡るベタ踏み坂などもあって、今やドライブ、ツーリングを楽しむ道路にもなり、交通量は格段に変わってきている。

本庄小学校1年の最初の遠足は、一番遠くから歩いて学校に通ってきているということで、「上宇部尾」の多気神社までだったことが、今でも同期の友人の間では話題になり、60年前のなつかしい思い出の一つとなっている。

また、本庄中学校時代には、今でも交流のある同期の松本耕司さん、一期下の中村光子さん、永田由美子さん達と、夏休みの校庭で、今の私の体力の基礎となった陸上競技の練習(私は中長距離)をしたことも忘れられない思い出として残っている。

中学を卒業したのは昭和37年、当時は金の卵と呼ばれて集団就職で兵庫県伊丹の住友電工へ就職し、技能の養成と同時に会社内の学園へも3年間通い、高卒同様の資格も取得できた。

入社当初は、陸上部に所属して兵庫県都市駅伝大会に伊丹市代表で自衛隊との混合チームで出場した。また、会社の陸上部には池田市の選手もおり、助っ人で大阪府の都市対抗駅伝などへも出場したりした。

その後は陸上での基礎体力を活かし、9人制バレーボールへ転身したが、社内の同好会のバレーボールチームは、経験者もいなくて全国大会などのレベルにはほど遠かった。

しかし、若さとはおそろしいもので、昼休みになると暑い夏、寒い冬でも休みなくアウトコートにネットを張って練習を繰り返している内に、県のベスト4になり、遂には優勝もできるようになって初の全国大会出場も果たした。

新潟県新発田市の全国大会へ初めて参加したとき、他のチームはすべて出張扱いでの参加なのに、私たちは個人で有給休暇をとっての参加だったので、他チームから笑われたことを恥ずかし思い出として今でもハッキリと覚えている。

そのチームも、今の現役チームは選手も大学

出身で、実業団の9人制大会では全国のベスト4~16の常連チームにまで成長し、会社&我々OBを喜ばしてくれている。

こうして、同級生、職場、スポーツサークルと様々な人の輪が、私の人生に大きく影響をあたえ、成長をさせてくれたことを心から感謝している。

中でもバレーボールの関係は、素人から全国大会出場まで自分を成長させてくれたことから、今はその恩返しとして「地域スポーツの活性化」のため、伊丹と阪神バレーボール協会のHPを作り、底辺の活動の充実、向上に努めている。

その原点は何と言っても故郷・上宇部尾にあり、いつも思い出し、感謝しているが、近畿には本庄小・中学校の同期も多くいて、折々に集まり、懇親を深め、情報を交換するのも大きな楽しみの一つになっている。

そう言えば、変わりつつある中海では、最近、中海振興の一環として、『水上飛行機による遊覧飛行』の試験飛行が上宇部尾町沖を拠点として行われ、本決まりになりつつあるとか聞いたが、これもこれからの大きな楽しみの一つで、実現すればいつか故郷を上空から眺めてみたいものだど期待している。



中海に水上飛行機がやってきます！

- せとうち SEAPLANES 試験飛行 見学会 -

日時：2016年4月2日(土) 11時～、14時～
3日(日) 11時～、14時～

※お天候により開催内容
※天候の状況により変更・中止になる場合があります。

場所：松江市上宇部尾町 地内

発表：松江市政策部 地域振興課 広報室

<概要>

中海振興の一環として、水上飛行機による遊覧飛行の試験飛行(離着水含む)を実施します。

■穴道町

「穴道が大好きです」

木原 貢



「しんじ」とは穴道？
完道？穴道？ 一体どれ
が正しいのか？ 明治初
期までの古文書には完道
と書いてあります。

733年に記された出雲国風土記によると「しんじ」の由来は、大国主命が狩りをして追いかけた猪の形と、それを追った犬の形をした石が残っていて、猪石と犬石の区別がつかないがそれを女夫岩(夫婦岩)と呼んでいるとあります。

細川家写本によれば、「シシジ」の表記は「穴道」と「完道」二通りあるが、「穴」はシシ、シシムラと訓み、獣の肉を表すが、「完」はカンだけで古訓にもシシという訓みはないそうです。

猪の古名はシシですから「猪を追った道」ということで「穴道」と表記するのが正しいということになります。

その女夫岩は、平成8年1月、中国横断自動車道尾道～松江線の予定地にあったのがきっかけで、遺跡としての保存運動が始まり、平成9年3月県文化財に指定されました。

さて、私はその神話の国、穴道で昭和15年4月農家に生まれ、幼少の頃の食糧難は何とか問題なく過ごすことができました。

地元の穴道小・中学校を経て、松江商業高校を卒業した私が就職したのは大阪の化学会社で、食品添加物を製造販売していました。代表的なものは「クエン酸」で、その用途は無限にあり皆様の口には必ず入っていると思います。疲労回復及び健康PRのCMもよく流れています。

又、私の担当先に、徳島県阿南市の日亜化学工業がありました。同社は発光ダイオードLEDを発明し、発明者中村修二氏は2014年(平成

26年) 10月ノーベル物理学賞を受賞したのはご承知のとおりです。

LEDとは明るさ、低消費電力、小型軽量化、寿命が長い等の特徴から、光記録装置、フルカラーディスプレイ、液晶バックライト、照明器具等に革命をもたらしました。

今や電気業界は一変しており、照明器具、光通信の発達、交通関連、大型ハイビジョン、自動車、その他多種にわたり省エネ化された製品ばかりで、CO₂削減効果にも大きな期待がかかっています。

なお、1989年(平成元年)、光の青色が発明されてから白色LEDが可能となり、信号機の「青」も今までは「緑」を使って「青」と呼んでいたものが、「青」を使って「青」と正しく呼べるようになりました。

ちなみに、その日亜化学工業は昭和40年代は従業員100~200名のところを、現在では9,000人までに成長しています。

こういった企業人生を歩みながら、「宍道が大好き」な私は近畿宍道会にも近畿松江会にも参加をしていましたが、昨年始め頃、突然、宍道の先輩である近畿松江会の有田副会長から近畿宍道会の会長をやれと言われ、続いて今度は近畿松江会の監事もやれと言われて、不得要領なまま、松江会の役員会に顔を出したことを覚えています。

そんなことで、宍道会も松江会もまだまだ経験不足だというのが私の実態です。

二つの会は規模も違い、目的とするものも異なるように思いますし、むつかしいこともいろいろあると思いますが、大好きな宍道のため、また、松江のために微力ながら役割を果たしていく所存ですので、どうぞよろしく願いいたします。

松江の耳より情報

◆<陸上競技>福田翔子さん(松江北高3年)が女子800mで日本一と高校日本一に。

6月26日におこなわれた第100回日本陸上競技選手権で福田翔子選手が社会人・大学生を押しやけて高校生としては同種目17年ぶりの日本一に輝いた。タイムは2分5秒92。

同選手は生馬小学校から松江一中と生粋の生馬っ子。平成26年1月の京都での都道府県対抗女子駅伝には中学生として参加し、応援した近畿松江会にとってもなじみの深い選手で、その成長ぶりは嬉しいビッグニュースとなった。

続いて、負けられない立場で迎えた8月1日の全国インターハイ(岡山)でも2分4秒09の好タイムで優勝。2020年の東京オリンピックに向けて目の離せない存在となってきた。オリンピックの参加標準記録は2分1秒50、この数年の奮闘を皆様とともに期待したい。



【月刊陸上競技9月号より】

◆<卓球>オリンピックで大活躍をした、あの石川佳純選手のお父さんの実家は松江。

今回のリオデジャネイロオリンピックで卓球女子団体銅メダルに輝いた日本のエース石川佳純選手の父親の実家は松江市米子町で、祖母ちゃんも健在とのこと。

このことをご存じの方は少なかったと思うが、8月18日の山陰中央新報で大きく報道されて驚いた方も多かったのではないかな。記事によれば石川選手は松江の祖父母を何度も訪ねている様子で、準「松江の子」として東京オリンピックでの活躍を応援したい。

寄稿

「小泉八雲・朗読の夕べ」に参加して

小田一美（堂形町）



私が通っていた松江一中は当時赤山にあり、通学路の近くにはヘルン（小泉八雲）旧居があった。いつも何気なく見ていたが、ヘルン

さんはいつの間にか私の心の奥深く入り込み、一中を卒業して50年以上経つ今もなお身近な存在となっている。

昨年、NHKのEテレの番組「100分で名著」で小泉八雲が特集され、4回にわたり放送された。八雲の世界観をあらためて全身で感じ、番組の中での佐野史郎さんの作品朗読がとても印象深かったのを覚えている。

今回、JR西日本が推進する「山陰いいもの探果隊」の活動の一つとして、京都の下鴨神社で佐野さんの「小泉八雲朗読の夕べ」が開催されることを知り、不思議な縁を感じながら、是非もう一度あの八雲の独特な世界に浸りたい一心で参加を申し込んだ。

3月も終りに近づいた27日の夕刻、先程まで降っていた雨もいつの間にかやんでいた。夕暮れせまる糺の森は、雲が一面に立ち込めている。それだけでなく薄暗い参道は霊気が漂っているのか一層寒さを感じる。家内と二人コートの手を立ながら歩いて行くと朱塗りの楼門に到着した。1年ぶりの下鴨神社である。受付開始までにまだ30分以上あるのに、既に50m近い列が出来ていた。

我々の後ろに並んだ親子の会話が聞こえてきた。父親は松江南高出身のようだ。鳥の合唱を聞きながら待っているといつの間にか列は100m以上になっていた。

辺りが暗くなり始めた頃、入場が始まった。舞殿の前に椅子が並べられている。全て自由席で、端のほうではあったが二列目に座ることができた。野外のため雨が降らないことを祈りながら開始を待つ。空はいまにでも降りそうに雲が重くの

しかかっている。

最初に、小泉凡さんの挨拶とトークがあった。いつものことながらやさしい語り口で八雲の世界に誘ってくれる。終わると舞殿の舞台に佐野史郎さんと山本恭司さんが席に着く。二人は松江南高の同級生とのことである。

続いて山本さんの演奏が始まった。静かな神社の境内にギターの音色が響く。時には激しく、時には優しく、また時には物悲しく心に響きわたる。知らずのうちに目を瞑り音の世界に引き込まれる。演奏がおわるとその余韻がのこるなか、佐野さんの朗読がはじまった。

内容は子供の頃よく聞いたことのある「怪談」である。「水あめを買う女」「鳥取のふとんの話」等々。その独特で静かな語り口は物語の内容により悲しくもあり、力強くも優しくもあり聞く人を自由に操っていく。いつの間にか八雲の幽玄で幻想的な世界に引き込まれる。我々が忘れそうになっている日本人の心、日本の原風景を思い起こさせてくれる。

語りで八雲の世界を自由に飛び回り、聞く人の心を揺さぶる事ができるのは、佐野さんの素晴らしい感性だけではなく、故郷と八雲への思いがそうさせるのであろう。

30分が過ぎた頃、一陣の風と共に大粒の雨が降り出した。多くの人が楼門の軒下に避難する。そうした動きにも動じることなく佐野さんの朗読と山本さんの演奏は続く。誰一人帰る人はいない。朗読と演奏にひきつけられて動けない。

八雲が描く日本の面影と、子供の頃過ごした松江への郷愁が交錯する。70分があつという間に過ぎた。久しぶりに素晴らしい時間と空間がもてた。

余韻にどっぷり浸りながら帰途につく。みんな満足感に満ちた顔をしている。「お父さんお腹すいたね」家内の突然の一言で現実の世界に引き戻された。そういえば夜の9時を過ぎているのに晩御飯がまだなのを思い出し、急に空腹を感じる。

「出町柳辺りで何か食べて帰ろうか」「そうしようか」と足を早める。雨はいつしか小降りになっていた。

平成28年度 役員名簿 新役員

顧問	荻田運三郎 (雑賀町・雑賀小学校)
会長	伊藤 征治 (北堀町・北堀小学校)
副会長	小川 龍朗 (島根町・加賀小学校)
副会長	有田 嵩 (宍道町・宍道小学校)
幹事長兼事務局長	竹谷 奨 (八束町・八束小学校)
副幹事長	井上 芳子 (石橋町・北堀小学校)
副事務局長	内部 茂 (東朝日町・中央小学校)
常任幹事 (ゴルフ担当)	井上 隆吉 (上東川津町・川津小学校)
常任幹事 (地域担当)	押田 良樹 (大庭町・雑賀小学校)
常任幹事 (地域担当)	木村 恵吉 (雑賀町・雑賀小学校)
常任幹事 (地域担当)	木村八重子 (東本町・母衣小学校)
常任幹事 (地域担当)	武田 貞雄 (雑賀町・雑賀小学校)
常任幹事 (地域担当)	渡辺 悟 (北田町・付属小学校)
常任幹事 (地域担当)	田中 裕子 (石橋町・北堀小学校)
常任幹事 (地域担当)	鶴羽 孝子 (西持田町・持田小学校)
常任幹事 (広報担当)	松本 耕司 (上本庄町・本庄小学校)
常任幹事 (広報担当)	茂居理智子 (堅 町・雑賀小学校)
監事	木原 貢 (宍道町・宍道小学校)
監事	吉岡 靖晃 (鳥 取 市)

会 員 名 簿 (中・小学校区別)

平成28年9月現在

- ①”ふるさと”に密着した「会員名簿」とするため、中・小学校区(通学区域)と、皆様から申告いただいている「出身町」をあてはめて作成しました。
 ②不具合、間違いがあります場合は、事務局までご一報いただければ幸いです。
 ⇒(注)島根大学付属小(中)学校は、この表には記載していません。

校区/出身町	通学区域・町名/会員氏名
【一中校区】	
生馬小	(上佐陀町一部、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町一部)
内中原小	(殿町一部、西茶町、東茶町、苧町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、堂形町、砂子町、国屋町、黒田町一部、浜佐田町一部、千鳥町、南平台)
城北小	(北堀町、奥谷町、東奥谷町、石橋町、大輪町、湍北台、法吉町一部、春日町一部、黒田町一部、菅田町一部)
法吉小	(比津町、比津が丘、法吉町一部、西法吉町、春日町一部、黒田町一部)
<石橋町>	井上 芳子(高槻市) 清水 良子(茨木市) 田村 稔久(豊中市) 永井 ひろし(京都市) 田中 裕子(吹田市) 山崎 麻里子(大東市) 池田 喜美代(門真市)
<内中原町>	千葉 新一(池田市) 大堀 裕子(東大阪市) 野津 一雄(尼崎市)
<奥谷町>	乾 チカコ(大阪市)
<片原町>	土田 和男(大阪市) 村上 勝美(三島郡島本町)
<北殿町>	
<北堀町>	伊藤 征治(奈良市) 平山 武秀(箕面市) 山口 茂(京都市) 和田 邦孝(神戸市)
<黒田町>	山口 紀子(神戸市) 野津 ゆう子(奈良市)
<湍北台>	山田 敬子(吹田市)
<殿町>	飯塚 満男(茨木市)
<堂形町>	小田 一美(奈良市)
<中原町>	佐々木 悦子(吹田市) 宍道 弘志(吹田市)
<外中原町>	森脇 泰雄(大阪市)
<東生馬町>	青戸 俊夫(神戸市) 藤原 敬(松江市)
<比津町>	小数賀 健二(河内長野市)
<法吉町>	景山 克雄(八尾市)
【二中校区】	
朝酌小	(西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町)
川津小	(菅田町一部、西川津町一部、上東川津町、下東川津町) (末次本町、東本町、殿町一部、母衣町、北田町、南田町、米子町、向島町、西川津町一部、学園南、学園)
母衣小	
持田小	(福原町、坂本町、川原町、東持田町、西持田町、上本庄町一部)
<上東川津町>	井上 隆吉(高槻市) 井上 伸久(高槻市)
<西川津町>	今井 憲子(大阪市)
<北田町>	渡辺 悟(吹田市) 大浦 綾子(西宮市)
<末次本町>	山田 稔(富田林市) 三成 宏二(木津川市)
<西尾町>	篠木 豊(大阪市)
<西持田町>	鶴羽 孝子(尼崎市)
<東本町>	木村 八重子(八尾市) 永江 幹雄(神戸市) 一軸保志郎(堺市)
<母衣町>	川角 十四枝(高槻市) 大野 賢造(川西市) 篠田いづみ(豊中市)
<南田町>	松井 恵(京都市) 山崎 晃(西宮市) 松本幸子(大阪市)
<米子町>	永瀬光一郎(芦屋市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【三中校区】	
雑賀小	(栄町、新町、松尾町、雑賀町、堅町、本郷町、西津田一部、上乃木一部)
中央小	(天神町、白潟本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、横浜町、幸町、袖師町、嫁島町、伊勢宮町、御手船場町、大正町、新雑賀町、東朝日町、朝日町、津田町、西津田一部、西川津町一部)
	○平成7年4月1日 白潟小学校 + 朝日小学校 ⇒ 中央小学校
<朝日町>	岡 茂(大阪府豊能郡)
<伊勢宮町>	竹谷 曜子(大阪市)
<雑賀町>	奥村 伸子(豊中市)
	荻田 運三郎(明石市) 木村 恵吉(吹田市) 篠崎 一浩(神戸市)
	澄川 光成(河内長野市) 武田 和子(宝塚市) 福間 則博(宝塚市)
	江角 要一(大阪市) 武田 貞雄(堺市) 尾原 謙治(奈良市)
<白潟本町>	
<新町>	中村 博行(名張市)
<栄町>	有田 鋼司(大阪市)
<新雑賀町>	永井 彰(大津市) 仁宮 龍聖(高石市)
<大正町>	赤井 真一郎(大阪市) 望月 修一(豊中市)
<堅町>	茂居理智子(堺市) 竹内喜次男(高槻市) 佐藤早智子(茨木市)
<天神町>	
<灘町>	長谷川 忠雄(奈良県北葛城郡)
<東朝日町>	内部 茂(茨木市) 菊池 尅雉(神戸市) 村尾 俊治(枚方市)
<本郷町>	
<横浜町>	荻田 京子(松江市) 岡本 由美(伊丹市)
<和多見町>	安島幸雄(吹田市)
【四中校区】	
古志原小	(古志原一部、八雲台、上乃木一部、一の谷町)
津田小	(東津田町、古志原一部、西津田一部)
【湖南中校区】	○昭和50年4月1日 新設
忌部小	(西忌部町、東忌部町、玉湯町一部)
乃木小	(上乃木一部、浜乃木町、浜乃木、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島)
<上乃木>	神谷 紀男(堺市) 田中 英明(交野市) 森廣 洋子(松江市)
	坂本 隆男(大津市)
<古志原町>	曾田 良子(奈良市) 三代 知範(神戸市) 平山 恭子(大阪市)
<西津田>	井々乃かな(高槻市) 藤坂 優子(泉大津市)
<浜乃木>	荻田 莞爾(松江市)
<乃木福富町>	小瀧 翔平(伊丹市)
<東津田町>	
【湖東中校区】	○平成5年4月1日 新設
大庭小	(大庭町、山代町、古志原一部、佐草町、大草町、矢田町一部)
竹矢小	(矢田町一部、青葉台、竹矢町、馬潟町、八幡町、富士見町)
<大草町>	足立秀之(茨木市)
<大庭町>	押田 良樹(吹田市)
<馬潟町>	松尾 年浩(高槻市)
<山代町>	
<八幡町>	大野 徹(奈良市) 小泉 勝是(長岡京市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【鹿島中校区】	
鹿島東小	鹿島町(御津、上講武、南講武、北講武、名分一部)
惠曇小	鹿島町(惠曇、手結、片匂、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部)
佐太小	鹿島町(佐陀宮内一部、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部、名分一部)
<鹿島町>	坂井 茂子(亀岡市) 山本 雅昭(大阪市) 小松 砂知子(東大阪市) 内藤 みよ子(明石市)
【湖北中校区】	○平成6年4月1日 古江中学校 + 秋鹿中学校 + 大野中学校 ⇒ 湖北中学校
秋鹿小	(秋鹿町、岡本町、大垣町)
	○平成22年4月1日 中島小学校 + 秋鹿小学校 ⇒ 秋鹿小学校
大野小	(大野町、上大野町、魚瀬町)
長江小	(東長江町、西長江町)
古江小	(古首志町、西谷町、古志町、荘成町、西浜佐陀町、上佐陀町一部)
	○平成23年4月1日 長江小学校 + 古江小学校 ⇒ 古江小学校
<秋鹿町>	
<岡本町>	折坂栄久(河内長野市) 堀川 光子(大阪市)
<東長江町>	和田 寛(河内長野市)
【島根中校区】	○平成16年4月1日 島根中学校 + 野波中学校 ⇒ 島根中学校
島根小	(島根町)
	○平成17年4月1日 大芦小学校+加賀小学校+野波小学校 ⇒ 島根小学校
<島根町>	小川 龍朗(京都市) 客野 伸(神戸市) 藤城 坦(神戸市)
【宍道中校区】	
大谷小	宍道町(上来待和名佐地区)
来待小	宍道町(東来待、西来待、上来待)
宍道小	宍道町(宍道、伊志見、白石、佐々布、昭和)
<宍道町>	有田 嵩(寝屋川市) 池尻 和子(東大阪市) 伊藤 雅義(京都市) 小田 兼久(豊中市) 川島 俊雄(川西市) 木原 貢(豊中市) 小高 久始(堺市) 木幡 泰三(寝屋川市) 木幡 晃正(篠山市) 梶月 禱暉(宝塚市) 高木 征次(交野市) 武田 精(八尾市) 田中 晨子(枚方市) 土江 安雄(堺市) 飛田 藤夫(大阪市) 光田 仁一(奈良市) 渡部 勇(宝塚市) 渡部 恵美子(宝塚市) 和田 亮介(豊中市) 阪本浩吉(枚方市)
【玉湯中校区】	
大谷小	玉湯町(大谷一部)
玉湯小	玉湯町(布志名、湯町、林、玉造一部、大谷一部)
<玉湯町>	長谷川 紀美子(奈良県北葛城郡) 中曾 暁尚(豊能町)
【本庄中校区】	
本庄小	(手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町、本庄町、上本庄町一部)
<上宇部尾町>	内田 美二(伊丹市)
<上本庄町>	松本 育郎(堺市) 松本 耕司(枚方市) 松本明夫(伊丹市) 松本芳樹(豊中市)
<新庄町>	寺前 澄子(高槻市)
<手角町>	北林 栄(堺市)
<本庄町>	面白 紘(橿原市) 坪倉 司郎(川西市) 山内 和美(吹田市) 三代 雅樹(加古川市) 田部 拓生(奈良市)
<枕木町>	木島 光子(大津市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【美保関中校区】 美保関小 (美保関町)	○平成7年4月1日 美保関北中学校 + 美保関南中学校 ⇒ 美保関中学校 ○平成13年4月1日 美保関小学校+森山小学校+福浦小学校⇒美保関東小学校 ○平成13年4月1日 七類小学校+片江小学校⇒美保関北小学校 ○平成18年4月1日 美保関東小学校+千酌小学校+美保関北小学校⇒美保関小学校
<美保関町>	愛田 幾也(神戸市) 梅木 隆志(大阪市)
【八雲中校区】 八雲小 (八雲町)	
<八雲町>	石倉 文行(豊中市) 藤田 宏(堺市) 藪田 とし江(大阪市) 安達 節男(吹田市)
【八東学園校区】 八東学園 (八東町)	○平成23年1月1日 小中一貫教育校として発足
<八東町>	岩田 太(神戸市) 門脇 基(茨木市) 門脇 幸夫(大阪市) 川原 ひろ子(豊中市) 河野 宗子(草津市) 高瀬 保子(豊能町) 高橋 小梅(東大阪市) 竹谷 奨(大阪市) 坪山 孝美(宝塚市) 福屋 篤子(豊中市) 松本 悟(大東市) 門脇 充人(大阪市)
【東出雲中校区】 出雲郷小 (出雲郷地区) 揖屋小 (揖屋地区) 意東小 (意東地区)	○平成23年8月1日 八東郡から松江市に合併
<東出雲町>	萩野 貫悟(吹田市)

■【松江市外出身の会員】	
<安来市>	荒銀 昌治(西宮市) 石田 裕子(大阪市) 京嶋喜久子(松江市) 浦 晴子(吹田市)
<出雲市>	竹内 一郎(大阪市) 鳥屋尾 勇(大阪市)
<広瀬町>	森藤 哲章(橿原市)
<隠岐郡海士町>	田黒 公司(吹田市)
<鳥取市>	吉岡 靖晃(大阪市)
<温泉津町>	林 邦幸(京都市)
<浜田市>	北島 幸子(豊中市)
<京都市>	小川 ますみ(京都市)
<明石市>	小松 雅子(明石市) 藤原 浩子(三木市)
<姫路市>	山本 達郎(姫路市)
<呉市>	菊田 チェミ(明石市)

■【名誉会員】	
<大阪市>	三林 京子(大阪市)

近畿松江会会則

【名 称】

第1条：本会の名称は、「近畿松江会」（以下「本会」という）とする。

【会 員】

第2条：本会の会員は、近畿地区及びその近接地に在住する松江市域出身者並びに縁故のある者とする。

【目 的】

第3条：本会は、会員相互の親睦を図り、あわせて郷土の発展と活性化に積極的に参加・貢献することを目的とする。

【事務局】

第4条：本会は、事務局を事務局長の勤務先に置く。

【事 業】

第5条：本会は目的達成のため次のことを行う。

- 1 会報及び会員名簿の発行
- 2 親睦会等の開催
- 3 その他本会の目的達成に必要な事業

【役 員】

第6条：本会に次の役員を置く。

- | | | | |
|---|---|-------|-----|
| 1 | 会 | 長 | 1名 |
| 2 | 副 | 会 長 | 2名 |
| 3 | 幹 | 事 長 | 1名 |
| 4 | 副 | 幹 事 長 | 1名 |
| 5 | 事 | 務 局 長 | 1名 |
| 6 | 常 | 任 幹 事 | 若干名 |
| 7 | 幹 | 事 | 若干名 |
| 8 | 監 | 事 | 2名 |
| 9 | 顧 | 問、相談役 | 若干名 |

【役員を選任】

第7条：役員は次の通り選出する。

- 1 会長、副会長及び幹事長は役員相互の互選とし、総会で承認する。
- 2 事務局長及び常任幹事、幹事は会長が委嘱する。
- 3 監事は総会で選出する。
- 4 顧問、相談役は、会長が指名し、役員会の議決を経て、総会で承認する。

【役員職務】

第8条：役員職務は次の通りとする。

- 1 会長は、本会を代表し、その会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあったときは、その職務を代行する。
- 3 幹事長は、会長の指示をうけて、会務の運営・執行にあたる。
- 4 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故のあったときは、その職務を代行する。

- 5 事務局長は、会長の指示をうけて、会務の推進を図る。
- 6 常任幹事は、行事担当幹事、会報担当幹事、地域担当幹事として幹事長を補佐する。
- 7 幹事は、会務を補佐する。
- 8 監事は、本会の会計、会務の執行につき監査し、総会にその結果を報告する。
- 9 顧問、相談役は、役員会の諮問に応じ、会務について意見を具申する。

【役員任期】

第9条：役員任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

【総会】

第10条：総会は次の通りの要綱にて開催する。

- 1 総会は、会長が招集する。
- 2 総会は、本会の最高意思決定機関であり、会務の報告、決算の報告、決算の承認、役員等の承認、会則の改正、その他本会の目的達成に必要な事項の審議を行う。
- 3 総会は、年1回の開催とする。但し、役員会が必要と認めたとき、または3分の1以上の会員から請求があったときは、臨時総会を開くことが出来る。
- 4 総会の議長は、会長が務める。
- 5 総会の議決は、総出席者の過半数による。可否同数の場合は議長がこれを決する。

【役員会】

第11条：役員会は次の通りの要綱にて開催する。

- 1 役員会は、会長、副会長、幹事長および副幹事長、事務局長、常任幹事、監事、顧問、相談役を以って構成する。
- 2 役員会は、会長が招集し、議長を務める。
- 3 役員会は、本会の執行機関であり必要な事項を協議、議決し本会の運営、事業の執行などにあたる。

【加入及び脱退】

第12条：本会の加入及び脱退は次の通りの手続きにより行うものとする。

- 1 本会に加入しようとする者は、所定の様式により会費を添えて申込むものとする。
- 2 本会を脱退しようとする者は、文書により会長に申し出るものとする。但し、3期間継続して会費の納入がないときは、退会したものとみなす。

【会計】

第13条：本会の会計は次の通り運営する。

- 1 本会の経費は、会費及び寄附金その他を以って充てる。
- 2 本会の会費は、年額3,000円とする。
- 3 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

【雑則】

第14条：本会を解散並びに本会則に定めなき事項若しくは疑義が生じた場合は、全会員の3分の2以上の賛成を得なければならない。

【附則】

- 1 本会会則は平成18年10月22日より実施する。
- 2 平成21年5月15日改正。



出雲そばと名物鴨南蛮「八雲庵」

城下町の面影を残す塩見縄手。松江城のお堀、裏山の竹林、松や茶室のある庭と池の鯉、そして店主が毎日一途に気持ちを込めて打つ本格手打ち出雲そばが、故郷のよき風情として皆様の心に刻まれますよう…皆様のご来店を心よりお待ちしております。

出雲そば処 八雲庵

〒690-0868 島根県松江市塩見縄手 308 TEL 0852-22-2400 FAX 0852-31-7210

営業時間 10:00～15:00 (ラストオーダー) ※おそばが無くなり次第終了させていただく場合がございます。

年中無休 (1月1日、2日を除く)

心和む風景と四季の味覚「おもしろ川」

宍道湖に沈む夕日と松江大橋。故郷が誇る絶景と共に、城下町松江が育んだ繊細な味覚を五つの専門店でご堪能いただけます。1名様でも気軽にご利用いただけるカウンター席、2名様より最大34名様対応のお座敷、BAR で過ごす大人の時間。ご家族、ご友人との憩いのひとときから大切なお客様へのご接待まで、シーンに合わせてご利用くださいませ。



懐石・天麩羅 おもしろ川 (2～4F)
昼 11:30～13:30 (ラストオーダー)
夜 17:30～20:30 (ラストオーダー)



寿司割烹 利久 (1F)
昼 11:30～13:30 (ラストオーダー)
夜 17:30～22:30 (ラストオーダー)



ステーキラウンジ レジャンス (2F)
昼 11:30～13:30 (ラストオーダー)
夜 17:30～21:00 (ラストオーダー)



酒房 松江くらぶ (1階)
営業時間 18:00～24:00
定休日 土曜・日曜・祝日

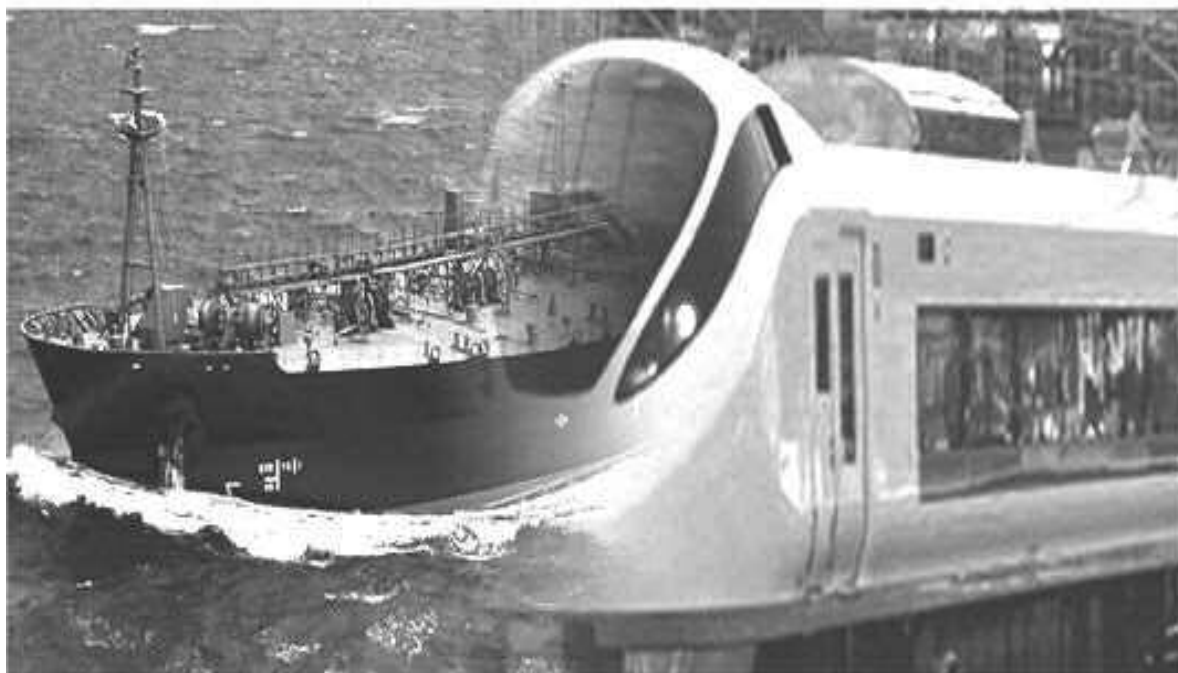


バーラウンジ はく (5階)
営業時間 18:00～24:00
定休日 日曜・祝日



〒690-0842 島根県松江市東本町1-5
TEL 0852-21-2941/0852-31-3951

鉄道車両、船舶、産業機器、ソリューション



車両運転台



スエズ運河探照灯

株式会社
◆ トーヨーコーポレーション
TOYO & ENGINEERING CORP.

取締役社長 山本 雅明 (松島7期・昭和35年開学卒業)

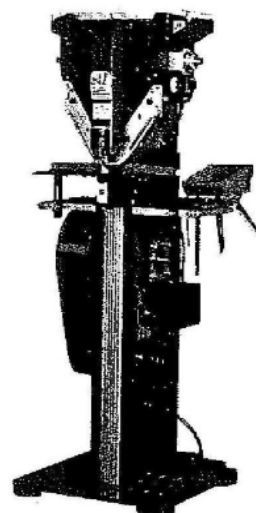
本社 千葉県大湊町西2丁目1-30 TEL06-6443-2061 FAX06-6443-9796

東京支店・香取工場

TEL: www.toyoecorp.co.jp

自動ホック打機 TM-200V

累積生産台数 8,000 台を誇る
伝統を持つ代表機種 TM-200 をベースに
プラスチックホック専用機種として、世界に
先駆けて開発



プラスチックホック

ベビーウェア及び各種アパレル製品に最適な
軽くてソフトな肌触りのプラスチックホック



プラスチックホック・精密機械製造販売

精密金型 設計・製作

武 田 精 機 株 式 会 社

TAKEDA SEIKI CO., LTD

代表取締役 武田 精

本 社

〒581-0041

大阪府八尾市北木の本

1丁目12番地

TEL : 072 (923) 5181

FAX : 072 (923) 5186

大阪営業所

〒541-0056

大阪府中央区久太郎町

1丁目8-11

TEL : 06 (4705) 7500

FAX : 06 (4705) 7433

三重工場

〒518-1155

三重県伊賀市治田

字大沢3090-23

TEL : 0595 (20) 9051

FAX : 0595 (20) 9052


 株式会社 **はーとケアグループ**
 代表取締役 **下田 弘子**
 (京都島根県人会 副会長兼事務局長)

私達は
 皆様の笑顔が輝くように
 真心でサポートします

健康 **介護**

〒607-8162 京都市山科区柳辻草海道町12-7 タケナカビル5階
 TEL: 075-583-2611 FAX: 075-592-1022


 株式会社川商
リバティーいちご

LIBERTY

管理者 **若松 ひろ子**
 〒542-0081
 大阪市中央区南船場3丁目1-7
 日宝東心斎橋ビル6階1号
 TEL: 06-6281-3722
 FAX: 06-6281-3723

ユニフォームはレンタルの時代へ

HANSHIN 阪神ユニフォーム販売部

東北・熊本地震からの復興活動を応援します。

〒540-0021 大阪市中央区大手通2-3-17
 TEL 06-6943-6990
 FAX 06-6943-6980
<http://www.hanshin-uniform.jp>


 松江観光大使
 近畿松江会 常任幹事
松本 耕司
 近畿双松会 会長 (松江高・松江北高同窓会)
 〒573-0049 大阪府枚方市山之上北町20-34
 Tel 090-6609-8817
 k-matsumoto@hi-ho.ne.jp

松江観光公式サイト

島根大根島 だいこんじま
ぼらぼう
天ぷら 茶碗むし
お吸い物に、刺身のつま

JAしまね はまぼうふう生産組合

前進黨創立八十五周年記念
 京都初巻公演四十周年記念
前進黨初春特別公演
 1月9日(祝・月)〜24日(火)
 雪月花源氏旗拳
 牛若丸
 人情噺 文七九結
 中村梅之助一周忌追善
 先斗町歌舞練場
 〒075-5561-6300


 経路での
 聖地を歩く

古代出雲歴史博物館
 カイト付き観覧券
出雲大社「八足門」特別参拝

株式会社 **一畑トラベルサービス**
 Travel

島根県人の溜り場
活句 大栴 だいます
 大阪市天王寺区玉造元町三-二
 電話 06-6768-9767
 代表取締役 鳥屋尾 勇
 (出雲市出身)

松江商工会議所

会頭 古瀬 田江 有澤 鷺尾 副会頭 副会頭 副会頭 副会頭

TEL 松江市母衣町五五一四
〇八五二一二三一六一六

松江城国宝指定1周年




(一社)松江観光協会 **水の都松江** 検索
TEL:0852-27-5843 FAX:0852-26-6869

山陰合同銀行 大阪支店

支店長 吉岡 靖 晃

〒541-0056 大阪府中央区久太郎町四丁目一番三号
(大阪センタービル二階)

TEL 〇六(六二五二) 五四〇〇
FAX 〇六(六二五二) 五四一〇



写真は、高根県民の森・大万木山（およろぎさん）。
好眺望駐車地は、飯南町の道の駅とんぼら、大しめなわ館、
頼原ラムネ銀泉、JAエルシー他。また、草峠（くさんだわ、
R54頼原・松江道高野ICからいずれも車で約15分の間
点）一帯は、日本海・中国山脈の山並みが見える眺望絶
佳の地となっています。

佐和田司法書士事務所(松江市)顧問
佐和田土地家屋調査士事務所(松江市)顧問
島根県遺島使 縁結びボランティア

佐和田 丸

〒573-1182
大阪府枚方市御殿山町11-33-610
電話・Fax 072-848-7417
e-mail malu122@nifty.com
HP <http://simane.do47.net/kadoya.html>

以下縁結びコーナー お相手募集中! 自薦他薦不問
○男性: 1979年生 大学院専修科卒 茨本市内の神社跡取り 結婚後別居
○男性: 1965年生 阪大薬卒 薬剤師 現在松江市内の薬局勤務
○女性: 1972年生 岡山大経卒ライター 関西在住者希望

関乃五本松節保存会

会長 鷺尾 修一
審査部長 三角 邦男

〒690-1501 松江市美保関町美保関661

TEL 0852-73-9001
FAX 0852-73-9005

山川・朝夕 本舗 風流堂

本店 〒690-0061 松江市白湯本町15

TEL 0852-21-2344 **風流堂** 検索

株式会社高速オフセット 渡 辺 悟

(近畿松江会常任幹事)

〒530-0001

大阪市北区梅田3-4-5

毎日新聞ビル6階

TEL 06-6346-2801

FAX 06-6346-2801



株式会社 エルム不動産

代表取締役 **木村 恵吉**

KeiKichi Kimura

宅地建物取引主任 大阪第091986号

〒532-0003 大阪市淀川区宮原2丁目12番14-207号室

TEL.(06)4807-7676 FAX.(06)4807-7677

携帯 080-3108-3330

安心の砂・トキサンドクリーン

シルテック

代表 茂居 理智子

〒599-8114

大阪府堺市東区日置荘西町5丁目4

TEL・FAX 072-287-3849

携帯電話 090-8889-6341

篠崎倉庫株式会社

代表取締役会長 篠崎 治

〒650-0023 神戸市中央区栄町通4-1-11

TEL 078-341-6721 FAX 078-361-3647

その他事業所 神戸市中央区弁天町 (シーガルハーバービル)

神戸市中央区栄町通 (エタニティ栄町ビル)

神戸市兵庫区築地町

神戸市灘区灘浜町 (シー・スクエア岸部)

大阪市豊中市向丘 (豊中ビル)

中ゲタ (株)

代表取締役 篠木 豊 (松江市西尾町出身)

本社 〒530-0043 大阪市北区天満3丁目2-9

電話 (06) 6351-7201

FAX (06) 6351-7203

(社)全日本不動産保証協会正会員
大阪府知事(3)第49868号

代表取締役 田黒 公司

Tadashi Taguro

有限会社 **大 夢**

吹田市豊津町18番37-701号

〒564-0051 TEL 06-6310-8839

FAX 06-6310-8840

携帯 090-1130-9847

E-mail: daimu@friend.ocn.ne.jp



北新地

フ ロー ラ

(前 島根クラブ青戸) 青戸保枝

☆ ウイスキー飲み放題 5,000円 ☆

☆ ママ手製のカレーライスもどうぞ ☆

〒530-0002 大阪市北区曾根崎新地1-11-20

(大阪駅第3前ビル向い) ハットボーイビル7F

TEL 06-6344-7910 携帯 090-3623-2479

会員制 カラオケラウンジ開放 (午後1時~5時)



金: 飲物・軽食付 女性 2,000円 男性 3,000円

土・日・祭日貸切料金 3,000円 (要予約)

TAトータルプランニング 「お墓のコンサルタント」

お墓の^{いでのん}移転から^{こんりゅう}建立・^{ぼまいぼう}墓理法に関する
こと等なんでもご相談に応じます

代表 ^{たけ}竹 ^{たに}谷 ^{すすむ}奨

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34

TEL 090-3054-9159

Email: osktake@ff.iiij4u.or.jp

近畿松江会

顧問 荻田 運三郎

〒674-0074

明石市魚住町清水2249-5

TEL・FAX 078-943-1500

近畿松江会

会長 伊藤 征治

〒631-0837

奈良市若葉台1-3-2

TEL・FAX 0742-46-5649

近畿松江会

常任幹事兼ゴルフ担当
副幹事長

井上 隆吉
井上 芳子

〒569-1147

高槻市土室町23-4

TEL・FAX 072-696-7334



不動産コンサルティング 売買 賃貸 管理
有限会社 エクスパートナース

不動産のことならお気軽にご相談ください

代表取締役

うち べ しげる
内部 茂

〒531-0075 大阪府大阪市北区大淀南1-4-18 (梅田スカイビル向い)

TEL : 06-6452-5581 FAX : 06-6452-5455

URL : <http://www.eks-p.com> E-mail : info@eks-p.com

事務局から“お知らせ”

近畿松江会にご支援・ご協力いただきありがとうございます。

今年度は第11回総会・懇親会はあらたなる一歩として新阪急ホテルからニューオオサカホテルへ会場を移し、開催致しました。

参加者は昨年の記念総会をしのぐ人数となりました。今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。現在会員総名簿数は284名、入退を重ね166名となっています。

また、役員も木幡泰三さん（監事）の後任に木原貢さん（宍道町出身・宍道会長）、佐藤徹志さん（監事）の後任に吉岡靖晃さん（鳥取市出身・山陰合同銀行大阪支店長）。また、待望の松江女子高関西部長、田中裕子さん（石橋町出身）が常任幹事として加わっていただきました。会員の皆様も是非役員の一端を担っていただけることを願っています。

さて、今年度の企画「ふるさと訪問&ゴルフ大会」については残念ながら、諸般の事情により中止いたしました。ご尽力をいただきました松江観光協会小林様、松江市役所各位、山陰合同銀行各位にこの場をお借りし、お詫びと御礼を申し上げます。

近畿松江会ホームページについて

今年度より鶴羽孝子常任幹事がホームページ担当となり、日々情報を発信しています。

ホームページお知らせ欄に『会員作品コーナー』を設置しました。第1号として木村恵吉常任幹事による写真（万博公園にて）を発表しました。会員の皆様も絵画・手作り作品・ガーデニング等々発表してください。「松江で見つけたもの」なんかもいいですね。

作品画像の送り先はコメントを入れて osktake@ff.iiij4u.or.jp まで

< 編集後記 >

小泉八雲が松江の文化英雄であることに異論はないところですが、藤間先生のご講演をお聞きして、その前に不昧公がいらっしやったことに眼を開かれました。そして市報松江9月号のコラム欄で朝ドラ「とと姉ちゃん」に登場の花森安治氏のことを高橋一清松江市観光文化プロデューサーが紹介されているのを読み、ここにも先達がいらっしやったと気づかされました。不昧公、小泉八雲、花森安治の足跡の上に、今日の松江があることは間違いないようです。

小泉八雲記念館が八雲の生き方「オープン・マインド」に合わせてリニューアルされたことを聞いていたので、今夏、遅ればせながら訪ねました。丁度近くの松江歴史館では高橋氏監修の花森安治と暮らしの手帖のパネル展がおこなわれており、両館をとっても幸せな気分です。言わば松江の文化英雄とでも言うべき方々のことはもっともっと語り継いでいかなければと思った次第です。

さて、この会報、漸くお届けできてホッとしております。ご寄稿いただきました皆様、最後のまとめをいただきました竹谷幹事長に感謝を申し上げて、編集後記とさせていただきます。

9月5日 広報担当 松本耕司(上本庄町)

表紙について

松江城が国宝になるずっと以前、昭和27年(1952)3月に国宝に指定

神魂神社(かもすじんじゃ)

伊弉冉尊(いざなみのみこと)を主祭神とし、通称大庭(おおば)の大宮さん。巨大な自然石を積み上げた石段といい古代出雲の神々の里らしいたたずまいを見せる。

本殿は現存する大社造の社殿のうち最も古いといわれ、国宝に指定されている。

その特徴は床が高いこと、前面と後方の中央にある柱(宇豆柱:うずばしら)がそれぞれ前と後へ張出していること。一見白木造りのようだが、往古は彩色されていたといわれ、屋根裏あたりにかすかに痕跡を留める。

近くの熊野大社、八重垣神社、六所神社などとともに意宇六社の一つに数えられ、何故か『延喜式』に記載されておらず、『出雲国風土記』にもない。出雲国造家とゆかりが深く、古くは国造家の私斎場の性格だったためかとも見られる。

本殿内陣には極彩色の壁画がある。なお本殿の屋根の前後を飾る千木(ちぎ)の先端が水平に切つてある(内そぎ)のは祭神が女神であることを示す。これに対し出雲大社や佐太神社など男神を主祭神とする神社では千木の先端が垂直に切つてある(外そぎ)。

場 所 島根県松江市大庭町 563

アクセス ・JR 松江駅から松江市営バス(かんべの里行) 終点下車、徒歩 3 分。一畑バス(八雲行) 約 18 分、風土記の丘入口下車徒歩 10 分

・JR 松江駅からタクシーで 15 分

・松江バスロケーションシステム・ぐるっとバスナビ

近畿松江会 会報 第9号

■発行:平成28年9月(2016年)

■発行者:近畿松江会 〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町 2-34 竹谷設計事務所内

TEL:090-3054-9159 E-mail: osktake@ff.ij4u.or.jp

■印刷・製本:株式会社 大一洋紙 〒537-0012 大阪市東成区大今里 1-1-25

TEL:06-6978-2577 FAX:06-6978-2588